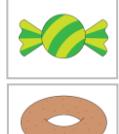
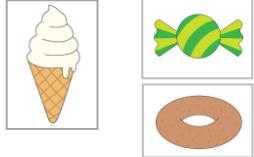


シアタータイム

導入	<ul style="list-style-type: none"> 講：絵本の表紙提示。「ここにいる動物達は、いろいろな美味しい物を食べたんだって」「誰が何食べたのかな？見つけてみようか？」と内容に興味を持たせてからお話を始める。 	教材	
		★絵本 ★iPad(シアターセット)	
読み方	<ol style="list-style-type: none"> 「食べたの だあれ」を全員で連呼、子ども達とゲーム感覚で絵を見て観察力を養うように「見つけっこ」を楽しみながら進行する。 必要に応じてシアターを拡大、身体に隠れた食べ物を確認する。 ※ペン機能を使用すると、より解り易い 	保育士の役割	
		子どもと一緒に見つけっこを楽しむ	

がくしゅうタイム

活動①	ねらい	位置	指示されたものがどこにあるのか確認し、表現しようとする	  
設問			動物さんが食べたものを見つけて、どこに隠れているのかお話ししましょう	
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> 講：「動物さんが食べたもの、身体の色々なところに隠れていたね」 保：「とんとんとん！お届け物です」と提示カード3枚を封筒に入れて届ける。 	教材 提示用カード3種
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> 講：「なにに？」と提示カード3枚を見せて、子ども達と一緒に感覚行動（良い匂い・冷たい・甘い・溶けそう等）入れながら確認する。 「お話しの中にも出てきたね、誰が食べたか覚えてる？」 絵本、又はシアターを見せながら1つずつ思い出し、それぞれ食べたと思われる子の身体のどこに隠れているのか、隠れている箇所を表す、位置のことば（そこ・ここ・あそこは×→後ろ・しっぽ・おしり・頭の上等具体的に表す）を意識しながら表現し、一緒に確認していく。 子：絵を見ながら隠れている場所を指さしたり、ことばで表現しながら講師と一緒に確認していく。 	保育士の役割 提示用カードを届ける ・子ども達と一緒に、食べた子と、食たものがどこに隠れているのか、特にことばでの表現のフォローをして盛り上げる
活動②	ねらい	観察	絵を見て指示されたものを見つけ、クレヨンで○をすることができる	
設問			「食べたの だれ？」ドーナツ・あめ・アイスクリームそれぞれを食べた子を見つけてクレヨンで○をしましょう	教材 P 1 ※提示用のプリントは必要に応じて拡大してご準備ください 活動①で使用した提示カード3種 ★クレヨン
つなぎ			<ul style="list-style-type: none"> 保：「私達も食べちゃった」とプリント提示。 	
活動内容			<ul style="list-style-type: none"> 講：「あれあれ？お友達がたくさん。美味しいもの食べて来たんだって。この中にドーナツ食べた子が1人いるんだって。食べたの だれ？端から良く見てみようね」と提示したプリントの左上から指さし、1つ1つ確認していく見本を見せる。子ども達と一緒に提示した「ドーナツ」を食べた子を見つけ出し「緑のシャツ着た男の子の、胸の真ん中にあるね」などことばでも具体的に表現しながら「忘れないように先生○しておくれ」とクレヨンを提示し、答えに○をする見本を見せる。 ※この時さりげなく「○は下からぐるり、ストップ」と○の描き方の見本を見せながら描いていく。 「まだまだ食べた子いるみたい。みんなも見つけて○してみる？」とやる気を引き出す。 保：プリント、クレヨン配布。 子：クレヨンの蓋を開けて準備。プリントを受け取り講師と一緒に「見つけっこ」を楽しむ。 講：先ずは「ドーナツ」の絵カード提示。「食べたの だれ？」をキーワードに、プリントの中から食べた子を指さし確認「その子にクレヨンで○をしましょ 	

う」と指示を出す。(クレヨンの色は自由。様子を見て色指示を入れる)
同様に「あめ」「アイスクリーム」を提示し「見つけっこ」を楽しく進行する。

※見つけて○をするたびに「ピンポン！ピンポン！！(拍手)」の称賛を保育士と共にしっかり行き盛り上げながら進行する。

- ・保：戸惑う子にはプリントの絵1つ1つ一緒に指さしながら確認。クレヨンの○が書けない子には一緒に手を添えて○を書いてあげる。
- ・講：最後に花丸やスタンプで称賛後「なになに？私達の食べた美味しいものちょっとだけ食べて良いよだって。みんなも食べて見る？いただきます」と食べる真似っこを楽しむ。
- ・子：講師と一緒にプリントの中の隠れた「美味しいもの」を食べる真似。
※提示以外の隠れた「いちご」などにも注目して、感覚行動を入れながら食べる真似を楽しむ。
- ・講：「みんなはどれが一番好き？美味しかったね」などの会話の後、みんなで「ご馳走様でした」の挨拶。「そろそろお友達も帰る時間だ。またね、バイバイ…」とプリント、クレヨンを片付けて活動を終了する。(少しづつ様子を見て片付けにも参加させる。)

保育士の役割

- ・プリント提示。
- ・プリント、クレヨン配布
- ・クレヨン準備のフォロー
- ・必用に応じて理解できない子、クレヨンでの○印のフォロー
- ・称賛
- ・プリント、クレヨンを回収(又は片付けのフォロー)

数チャレ	ねらい 数	おはじきの数を数えて「3個」入ったお皿を選ぶことができる	教材 おはじき 皿
設問	おはじき「3個」入ったお皿はどっち？		
活動内容	<ul style="list-style-type: none"> ・講：2つの皿(3:2)を提示。「○○先生、こっち(右)とこっち(左)。おはじき3個入っているのはどっち？」 ・保：答える見本行動。「こっちは、1・2…こっちは、1・2・3。だからこっち！」と数えて確認し「3個」入った皿を指さす。 ・子：見本同様に答えていく。 ※子どもによっては見ただけで「2個」「3個」を確認出来る子がいると思います。その場合は数えなくても良い。 	保育士の役割 <ul style="list-style-type: none"> ・答える見本行動。2つの皿を比べて「こっち」と指さす。 ・皿を持って比較させていく。 	

■出来たかな表

【活動内容】	【ポイント】
シアター	ペン機能を使用出来たか 子どもの声を拾い、称賛しながら読み進めたか
活動① 位置	上下左右、上から○番目等の位置の確認を行ったか
活動② 観察	クラスの理解度に合わせた指導の仕方を心掛けたか
数チャレ(3:2)	それぞれの皿に入っているおはじきの数を提示で確認した後に個別対応出来たか

楽習タイム♪

*** テーマ・観察 ***

見つけっこ遊び

日々の生活の中で子ども達の好きなものや、馴染み深いもの、見つけやすいものから「どこにある？」と聞いて「見つけっこ遊び」をしてみましょう。

※家庭や保育園、子ども達を取り巻く生活環境の中での見つけっこ遊びは、子ども達の視野・視点を広げ、観察力が育ちます。また物への興味関心も高めて行くことでしょう。



子どもにとって生活の中のすべてのことが遊びとなり、学びに繋がります。楽しく関わっていきましょう。

今月のえかきリズム

*** ゆきだるま ***

えかきリズムの動画はこちら





楽習タイムの動画はこちら

